

インターバンクの声（2016 年 10 月 21 日）

米大統領選候補者の第 3 回テレビ討論会は、トランプ候補が最後まで劣勢を挽回することが出来ず、結局クリントン候補が優勢を保ったまま終わってしまった。市場はトランプ候補が大統領に就任することで生じる政治リスクがほぼ消えたと見てか、ロンドン市場が動き出す頃にはドル円が 103 円後半までドル買いが進んだ。昨日のドルは、ユーロや豪ドルに対しても買い進まれたが、一部で報道されていた欧州中央銀行 (ECB) の緩和縮小観測が、昨夜の理事会後のドラギ総裁の会見で明確に否定されたことが大きく影響した。一週間前から買い進まれていた豪ドルも、ドル買いと原油価格が高値から 1ドル超下落したこともあって、アジア時間から 100 ポイント下げた 0.76ドル台前半でニューヨーク市場での取引を終えた。前日は強弱混在した米住宅関連指標だったが、昨日の中古住宅販売件数は市場予想を上回り、年内利上げの確率をさらに上げた。原油価格や株価の上昇が続いていれば、もう少しドル高が進んだかも知れないが、米長期金利上昇の勢いも失われ始めており、次の注目は来週末に発表される7-9月期の米 GDP 速報値になりそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。